

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぐーなっつ		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 11日		～ 令和6年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 11日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	令和6年 12月 11日		～ 令和6年 12月 25日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 15日		

○分

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い支援員の派遣	・ 保育所等訪問支援に行く支援員は幼児教育施設には幼稚園、保育園で担任や支援担当をした経験が十分にある者、また小学校には小学校の教諭経験の十分にあるものを派遣し、それぞれの年齢における集団の立場と、その子その子の発達の課題に応じた療育的な立場の両方をきちんと理解した上で支援するように努めています。	・ 個別のニーズに応じた支援方法について更に学んでいきます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報共有と継続的な支援	・ 放課後はデイサービスの営業時間ということもあり、学校や園の先生と話し合う時間を十分に確保することが難しいです。	・ 訪問支援を充実させるためには訪問先と支援の振り返りの時間をしっかり持ち次への見通しを共有することが重要だと考えています。また支援員が訪問していないときにも担任が一人でできる支援のあり方を共有しておくことで継続的な支援が行えるので、人員や時間のやりくりを工夫し、訪問先との話し合いを更に充実していきたいと思います。
2			
3			

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 くーなっつ (保育所等訪問支援)

公表日 2025年3月20日

利用児  
童数

13

回収数

9

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4	0	1	4		・訪問支援では幼稚園、保育所、学校の活動内容に合わせて支援を行いますので教材などは個に応じたものとなります。報告の時に環境や教材についてもお伝えできるよう工夫していきます。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	9	0	0	0		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	9	0	0	0	・面接時に説明を受け書面ももらっている。	
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	9	0	0	0	・幼稚園の先生と相談し、決まった日程を事前に教えてもらっている。	
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思えますか。	8	1	0	0		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	9	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されていると思えますか。	9	0	0	0		
	8	保育所等訪問支援計画(個別支援計画)には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	9	0	0	0	訪問支援提供記録に園の先生と話した今後の支援についての移行が盛り込まれている。	
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	9	0	0	0		・保育所等訪問支援ガイドラインは札幌市のホームページからご覧になれますのでお時間のある時にご覧ください。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	9	0	0	0		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	8	0	0	1		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0	・面接時に説明を受け書面ももらっている。	
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0	・定期的な面談で説明されている	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	5	1	1	2		・家族が参加できる研修会は年に1度行ってきましたが、家族支援プログラムについては研修や情報提供の機会が少なかったと思います。今後取り入れていきたいと思っています。
	15	必要などきにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	9	0	0	0	・送迎時や通所の才利用しているファイル、定期的な面談でできている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0	・定期的に面談している。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0		
	18	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	0		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	8	0	0	1	・幼稚園での困りごとを事業所の活動でも実施してくれている。	
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	9	0	0	0	・どのような話し合いだったかを書面でもらっている。	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	9	0	0	0	・送迎時や電話で報告を受け、後日書面でも細かく子どもの様子を教えてもらっている	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	0	0	1	・通所ファイル、書面、ライン。SNSなどを通じて発信されている	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていますか。	7	1	0	1	・定期的に避難訓練をしており、何かあった時でも子どもは混乱せずに行動できると思う	・訪問先で支援員も避難訓練に参加するなどの機会があります。また、非常時には随時電話などで連絡が取れるようにしています
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	9	0	0	0	・温かく見守りつつ寄り添ってくれて安心。楽しみにしている	
	28	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0	・温かく見守りつつ寄り添ってくれて安心。 ・こどもの特性を理解し、その都度支援してもらえることに感謝している。	

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			
ぐーなっつ（保育所等訪問支援）		2025 年 3 月 20 日			
		利用児童数 訪問支援先施設数		利用児童13名 11か所 回収数 11	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自園の考えがありアドバイスを実行しないこともあるが、教えてもらったことはとても勉強になっている。</li> <li>・担任は訪問支援員の客観的な立場からの助言を生かして指導にあたっている。</li> <li>・困り感を適切にとらえて支援の方法をアドバイスしてもらっている。</li> <li>・保護者支援を含め具体的に助言、アドバイスをしてくれて参考になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等訪問支援は実際にお子さんと一緒に保育、授業の現場で活動することができるので、具体的な手だてを担当の先生と共有しながら共に支援の方法を探っていくという思い出聞らせていただいています。</li> <li>・今後も私たち自身も学びながらよりよい支援のあり方について、幼稚園、保育所、学校と一緒に考えていきたいと願っています。</li> </ul>
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大満足である。昨年度の児童への援助の際も、とても勉強になった。</li> <li>・いつも勉強させてもらっている。</li> <li>・経験豊富な支援員ばかりで満足している。</li> </ul>	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	10	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任との保育後の話し合いが有意義で勉強になっている。</li> <li>・どのように関わったらよいか、次を見通してわかりやすくアドバイスされている。</li> </ul>	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	7	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部軽減した部分のあるが、支援によりまた違った側面も出てきた。</li> <li>・マンツーマンで児童とかかわり後押ししてもらえるので児童に自信が生まれ笑顔が増えている。</li> <li>・まだ始めたばかりで大きな変化はないが痲痺は減っている。</li> <li>・指導計画でねらいを共有しているので互いの支援をすり合わせられるのが良い。</li> <li>・大変助かっている。</li> <li>・月5回と回数が決まっているので、継続的な支援が難しいのが現状だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問回数には限りがあるので、短期間で大きな変化は難しいと思いますが、お子さんの実態を集団の立場からと個別の立場からの両方の視点で共に考え合うことはお子さんの成長に取って有益であると考えています。できれば指導計画を共に作成するなど踏み込んだ支援に津なっていけばよりよいのではないかと思います。</li> </ul>
5 事業所からの支援に満足していますか。	9	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大満足である。昨年度から継続して関わっていることで職員も安心感をもって支援員の来園を待ち望んでいる。</li> <li>・子どもと保護者にも寄り添ってくれるので安心して相談できる。</li> <li>・とても満足。他のデイでも訪問支援を行ってほしい。</li> </ul>	
其他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中や休み時間等での児童とのかかわり方でとても勉強になっている</li> <li>・支援の回数が増えたこともありがたい（2回から5回に変更）</li> <li>・対象児について考え支援し、クラス活動への参加をできる範囲で働きかけてくれていると感じる。しかしそのことで他児やクラス活動に影響が出ることもありバランスが難しいと感じる。今後も情報共有し、より良い方向へ共に導いていきたい。</li> <li>・幼児の発達や課題について共有しながら訪問支援をしてもらえるのでスタッフ</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの園や学校から高評価をいただき感謝しています。今後も支援員が専門的な支援を行うことができるように、私たち自身も学び続けていきたいと思います。</li> <li>・園、学校、ご家庭との連携を深めていくことにより、お子さんにとっての支援がより良いものになるよう努めていきたいと思います。</li> </ul>	

が1名増えたような状況になるため大変ありがたい。

- ・本園には支援が必要な幼児が多く今後も支援をお願いしたい。
- ・アドバイスはもちろんのこと、保育士のやる気もあげてもらえる対応に感謝している。
- ・具体的な支援の方法についてアドバイスをもらえるので助かっている。
- ・積極的に訪問支援をしてくれることに感謝している。園、家庭、デイサービスが連携することで支援が必要なお子さんの発達に影響があると思う。今後もより一層連携を図っていきたい。
- ・これからも園生活の中での保育者のかかわり方などを教えてほしい。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ぐーなっつ（保育所等訪問支援）	2025 年 3 月 20 日 公表日
------	-----------------	------------------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	8		・幼稚園、保育所、学校の活動内容に合わせて支援を行うので教材などは個に応じたものを作成している。	報告の時に環境や教材についても保護者に伝えるよう工夫していく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				・保護者アンケート、自己評価は行っているが第三者評価は行っていません
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	8		保育所等訪問支援の場合支援員が一人で訪問することが多いので、初回訪問の時には自発管が同行し複数の目でアセスメントできるようにしている。	定期的に自発管も訪問させていたが、一人の考えだけでなく多角的に実態把握ができるようにしていく。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	8			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		・利用者の実態に応じた計画は意図されているが、ガイドラインの具体的な内容について更に研鑽を深めていく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2		・保育所等訪問支援当日に十分な打ち合わせや振り返りができないときもあるが、事前、事後に電話や面談で話し合いの時間をもつよう心がけています。訪問先と支援員の情報やわらいの	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2		9。訪問元へ又支援員の情報提供については共有は重要だと考えているので、今後も意識して行っていきたいと思う。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	8		訪問支援では訪問先の集団のねらいや、物的・人的環境を尊重し、支援員が行かないときにも適切な支援が継続できることを大切にしている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	8			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1		・主な引継ぎは訪問先の施設で行うことが多いです。まだ実績は少ないのですが、必要に応じ支援員が引継ぎ用の資料を作成し共有することはあります。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	8			訪問支援の研修を行ったことはないので今後取り入れていきたい。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	5		・常勤者以外は参加することがない。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			・家族の参加できる研修会は行っていますが家族支援プログラムの実施や情報提供を今後も心がけていく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	8			保育所訪問支援について知らない学校や幼児教育施設が多い。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	8			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	8			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8			



	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	7			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	7			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	7			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	7			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			・訪問支援では訪問先の施設での計画や訓練に従う。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		